

タイムスケジュール

早稲田大学 国際会議場

	井深ホール & ZOOMウェビナー	会議室 1	会議室 2
1月30日(金)	<p>13:00 主催者挨拶・来賓挨拶 OD</p> <p>13:15 メインシンポジウム「家庭支援と社会的養護～一体的・包括的支援体制への課題～」 OD</p> <p>15:35</p> <p>15:45 シンポジウム「家庭養育推進における協働を考える～里親との協働と社会による子育て～」 OD</p> <p>18:00</p>		

1月31日(土)	<p>9:30 分科会1「ファミリーホームの現状と今後の制度のあり方」 OD</p> <p>12:00</p> <p>13:00 シンポジウム「官民協働のとびらをひらく～多機関協働で紡(つむ)ぐ こども家庭支援～」 OD</p> <p>15:00</p> <p>15:10 シンポジウム「児童相談所の現在(いま)を知る」 OD</p> <p>18:00</p>	<p>分科会2「ライフストーリーワークと特別養子縁組成立後の支援」 OD</p> <p>12:00</p>	<p>分科会3「WHAT's 要対協～児家センを活かし、活かされて～」 OD</p> <p>12:00</p>
	<p>18:30 レセプション -リーガロイヤルホテル東京-</p> <p>20:30</p>		

2月1日(日)	<p>9:30  映画「花束」 上映とトークセッション</p> <p>12:00</p> <p>13:00 クロージングシンポジウム「インクルーシブ保育の未来像～児童発達支援センターの今後のあり方～」</p> <p>[第1部] 基調講演 OD</p> <p>[第2部] シンポジスト発表 OD</p> <p>[第3部] ディスカッション OD</p> <p>16:00 閉会の挨拶 OD</p> <p>16:10</p>		
---------	---	--	--

OD :後日録画を配信予定

 :無料

 :有料

1月30日(金) フォーラム1日目 ハイブリッド開催

オープニング 13:00~13:15 ハイブリッド (WEB & 井深ホール)

OD

主催者挨拶： 潮谷 義子 (全国家庭養護推進ネットワーク共同代表)
 来賓挨拶： 齊藤 馨 (こども家庭庁支援局長)
 世耕久美子 (公益財団法人SBI子ども希望財団理事長)

メインシンポジウム 「家庭支援と社会的養護～一体的・包括的支援体制への課題～」

13:15~15:35 ハイブリッド (WEB & 井深ホール)

OD

今回の合同フォーラムのメインテーマ、地域の家庭支援と社会的養護の包括化に向けた課題について、4団体の中心人物が語り合います！

基調講演： 柏女 霊峰 (淑徳大学名誉教授)
 シンポジスト： 李 炯植 (しゃちネット代表理事 認定NPO法人Learning for All代表)
 橋本 蓮碧 (しゃちネット代表理事 ディア副代表 全国家庭養護推進ネットワーク副代表)
 北川 聡子 (しゃちネット理事 ディア副代表 全国家庭養護推進ネットワーク副代表)
 助言者： 安里賀奈子 (こども家庭庁成育局成育環境課長)
 小松 秀夫 (こども家庭庁支援局家庭福祉課長)
 コーディネーター：相澤 仁 (第8回FLECフォーラム+実行委員長 全国家庭養護推進ネットワーク共同代表)

シンポジウム 「家庭養育推進における協働を考える～里親との協働と社会による子育て～」

15:45~18:00 ハイブリッド (WEB & 井深ホール)

OD

里親との協働について、実親との協働などQPIの取組、また企業との協働の事例を紹介し、新しい取り組みと可能性を参加者と検討します。

シンポジスト： 西郷 民紗 (早稲田大学人間総合研究センター次席研究員)
 企業担当者 1名
 北川 聡子 (社会福祉法人妻の子会理事長)
 井口 真一 (長野県こども・家庭課児童相談・養育支援室)
 安留 昭人 (山梨県中央児童相談所処遇指導・移行支援課長)
 コメントーター： 胡内 敦司 (こども家庭庁支援局家庭福祉課課長補佐)
 コーディネーター：上村 宏樹 (家庭養育支援機構事務局長 早稲田大学社会的養育研究所 一般社団法人無憂樹代表)

1月31日(土) フォーラム2日目 ハイブリッド開催 (一部プログラムは、現地のみ)

分科会 9:30~12:00

OD

分科会 1

「ファミリーホームの現状と今後の制度のあり方」
 ハイブリッド (WEB & 井深ホール)

制度創設から17年、障害児やケアニーズの高いサポートが必要な子どもの増加など子どもの状況は大きく変化しています。個別対応職員加算により職業的里親の性格も帯び、赤ちゃんホームの実践や定員4名など、これからのファミリーホームの在り方を探ります。

登壇者：徳田 絵美 (愛知県常滑市ファミリーホームわたしん家)
 三橋みつえ (社会福祉法人妻の子会ファミリーホームりんごちゃん)
 野口 啓示 (福山市立大学教授 ファミリーホーム野口ホーム)
 河野 洋子 (大分大学福祉健康科学部講師)
 助言者：小松 秀夫 (こども家庭庁支援局家庭福祉課長)
 藤井 康弘 (全国家庭養護推進ネットワーク代表幹事)
 コーディネーター：北川 聡子 (社会福祉法人妻の子会理事長 日本ファミリーホーム協議会 会長)

分科会 2

「ライフストーリーワークと特別養子縁組成立後の支援」

会議室 1 (早稲田大学国際会議場3階) ※現地ののみ

ライフストーリーワークの重要性は広く認知されつつありますが、その多くは里子や施設で暮らす子どもを対象としています。本セッションでは、ライフストーリーワークを切り口に特別養子縁組成立後支援に焦点を当て、中長期的支援の必要性を考えます。

登壇者：徳永 祥子 (セネエティックライフストーリーワークジャパン代表)
 安島 大輝 (神奈川県鎌倉三浦地域児童相談所 児童福祉司 (SV))
 才村 眞理 (ライフストーリーワーク相談室、元帝塚山大学教授)
 コーディネーター：ロング朋子 (一般社団法人ベアホープ代表)

分科会3

「WHAT's 要対協～児家センを活かし、活かされて～」

会議室2（早稲田大学国際会議場3階）※現地のみ

要保護児童対策地域協議会と児童家庭支援センターの連携・協働の実践例を紹介し、これからの地域における包括的な子育て支援のあり方を考えます。

登壇者：武田 麻里（和歌山児童家庭支援センターきずな）

樋木 芳高（元有田市役所市民福祉部こども課
こども家庭支援係保護児童対応専門員）

富樫美和子（社会福祉法人みその）

高橋 潤平（にかほ市民福祉部こども家庭センター
子ども家庭支援班）

畑村 泰至（なかべこども家庭支援センター紙風船）

助言者：佐藤まゆみ（淑徳大学総合福祉学部教授）

胡内 敦司（こども家庭庁支援局家庭福祉課課長補佐）

コーディネーター：堀 浄信（社会福祉法人光明童園 理事長）

シンポジウム「官民協働のとびらをひらく～多機関協働で紡(つむ)ぐ こども家庭支援～」

13:00～15:00 ハイブリッド（WEB & 井深ホール）

OD

家庭支援事業が全国各地で展開されるよう、「サテライト」や「コンソーシアム」による運営等、官民協働のとびらを拓く自治体好事例を検証します！

行政説明： 安里賀奈子（こども家庭庁成育局成育環境課長）

シンポジスト： 大橋 雄介（特定非営利活動法人アスイク理事長 社会的養育地域支援ネットワーク理事）

後藤千鶴子（仙台市元職員 特定非営利活動法人せんだいファミリーサポート・ネットワーク理事）

野尻 富美（家庭支援ネットワークコンソーシアム おむすび亭えちぜん副代表）

山田 賢一（福井県越前市長）

助言者： 安里賀奈子（こども家庭庁成育局成育環境課長）

能島 祐介（尼崎市 こども政策監）

コーディネーター：橋本 達昌（社会的養育地域支援ネットワーク 代表理事）

シンポジウム 「児童相談所の現在（いま）を知る」 15:10～18:00

ハイブリッド（WEB & 井深ホール）

OD

児童虐待対応や社会的養護の取組の核となる「児童相談所」。社会の期待は高く、関係者の耳目が集まりますが、その組織や支援プロセス、現状を知る機会には多くはありません。このシンポジウムでは、児童相談所経験者を中心に児童相談所の実情と解決すべき課題等、現在（いま）を共有し、これからの児童相談所を考えます。

行政説明： 野中 祥子（こども家庭庁支援局虐待防止対策課長）

問題提起： 川松 亮（明星大学教授）

シンポジスト： 薬師寺順子（枚方市子ども未来部）

渡辺 直（杉並区子ども家庭部参事）

河野 洋子（大分大学福祉健康科学部講師）

平岡 篤武（心理相談室 樹（タツキ）室長）

コーディネーター：藤井 康弘（全国家庭養護推進ネットワーク代表幹事）

レセプション ーリーガロイヤルホテル東京ー 18:30～20:30



2月1日（日）フォーラム3日目 ハイブリッド開催

映画「花束」上映とトークセッション 9:30～12:00 ハイブリッド（WEB & 井深ホール）

上映前後にサヘル・ローズ監督・キャストによるトークセッションを予定しています



映画「花束」上映

俳優・タレントとして幅広く活動するサヘル・ローズが監督を務め、様々な感情や思いを抱きながら児童養護施設で育った若者たちの姿を、ドキュメンタリーとフィクションとドラマを融合させて描いた実験的映画。

児童養護施設で育った8人の青少年たち。一見するとごく普通の青少年と変わらない彼らだが、それぞれが幼少期や思春期に、普通とは言い難い体験をしている。彼らが児童養護施設で過ごした記憶をたどると、彼ら自身にも忘れがたい瞬間がある。その忘れがたい瞬間をカメラの前で彼ら自身が演じることで、彼らが生きてきた痕跡をたどり、記憶の断片を表現する。その姿を通して、現代の日本が抱える大きな闇、その犠牲になっている子どもたち、その当事者である彼らが見つめる一筋の光などを明らかにしていく。

主人公である8人は実際に児童養護施設で育った、いずれも役者ではない普通の若者たち。そのほか、オーストラリア出身のバイオリニスト、ボーカリストなど音楽家として活躍するサラ・オレインや、プライベートで短期の里親制度に参加し、児童養護施設の子もたちとも交流のある名優・佐藤浩市が出演。岩井俊二がエグゼクティブプロデューサー、「LUNA SEA」のSUGIZOが音楽を担当。

2024年製作／94分／G／日本
配給：hanataba project
劇場公開日：2025年1月25日

監督：サヘル・ローズ
脚本：シライケイタ
エグゼクティブプロデューサー：岩井俊二
音楽：SUGIZO
プロデューサー：田井えみ
プロデュース：佐東亜耶
撮影：山口英徳
出演：黄安理、黄佳琳、河野真也、栗原直也、フロー
ハン聡、星野舞結花、松嶋マリアル、吉住海斗、諸星
風羽、サラ・オレイン／佐藤浩市
制作：ロックウェルアイズ



クロージングシンポジウム 13:00～16:00
「インクルーシブ保育の未来像～児童発達支援センターの今後の在り方～」
ハイブリッド (WEB & 井深ホール)



OD

乳幼児期のインクルージョンは、多様なこどもが同じ場で遊び、共に育ち合うことを通じて、お互いの違いを理解し、共生社会の基盤を築く要です。障害のあるこどもを支える要となってきた児童発達支援の通園機能や後方支援、地域支援、保育園の新たな機能の再構築について検討します。

【第1部】

基調講演： 三原じゅん子 (参議院議員)
源河 真規子 (こども家庭庁長官官房審議官 (支援局担当))
課題提起： 北川 聡子 (社会福祉法人妻の子会理事長)
調査研究報告：尾西 洋平 (子どもの保育におけるインクルージョン推進に向けた調査研究事務局次長 社会福祉法人妻の子会)

【第2部】 シンポジスト発表

シンポジスト： 大内 紀彦 (神奈川県立鶴見支援学校教員 東京大学教育学部非常勤講師)
光真坊浩史 (子どもの保育におけるインクルージョン推進に向けた調査研究事務局次長 全国児童発達支援協議会理事)
内田 治代 (社会福祉法人興望館 特別支援教育コーディネーター)
栗原 正明 (こども家庭庁成育局保育政策課長)
今泉 愛 (こども家庭庁支援局障害児支援課長)
助言者： 村木 厚子 (全国社会福祉協議会 会長)
コーディネーター： 柏女 霊峰 (淑徳大学名誉教授 全国家庭養護推進ネットワーク共同代表)

【第3部】 ディスカッション

閉会の挨拶 16:00～16:10 ハイブリッド (WEB & 井深ホール)

OD

相澤 仁 (第8回FLECフォーラム+実行委員長 全国家庭養護推進ネットワーク共同代表)